

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL: 048-873-0216 FAX: 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな人の育成

44回目の秋に

校長 田口幸久

秋風が涼しく、気持ちのよい季節になってきました。いよいよ秋本番、10月に入ります。

中尾小学校はこの10月9日、お陰様で44回目の開校記念の秋を迎えます。昭和54年、尾間木小学校から分離し、851人の児童数で開校しました。当時、学校敷地とその周辺は一面農地で、特に芋類の生産地として優れた畑地の緑豊かな土地だったそうです。開校当時、地域の方々が校内に植樹してくださいました多くの樹木は、今では大きく成長し、市内屈指の緑豊かな学校になりました。校地の湧水を集めて流れる中尾川や学校農園では、中尾っ子たちが今日も野菜づくりやザリガニ、バッタなどの生き物獲りに夢中です。

9月中旬、5年生は恒例の稲刈りを行いました。本校の卒業生の保護者も在校時代に経験したことがあるようです。ほとんどの児童が稲刈りは初めてで、慣れない鎌を持って懸命に刈り取り、稲穂を束ねていました。5月の田植え以来、水の管理、鳥よけのてぐす糸張り、雑草抜き他、様々な労作業を経て白いお米になるまでの過程を知ることが、素晴らしい経験です。今回もボランティアの森田さんにお世話になりました。10日間、教室のベランダで天日干しをした後、脱穀、精米をして「彩のきずな」が食卓に上がります。



一方6年生は、晴天の下、日光修学旅行に行ってきた。コロナ感染拡大も心配されましたが、事前からの健康管理や準備等を入念に行い、日光の歴史や自然を十分に満喫することができました。実行委員会を中心に、感謝の気持ちをもって自分たちの旅行をつくっていかうとする、6年生一人ひとりの姿に、「さすが中尾の最高学年」と感心しました。下旬には、1年生も東武動物公園へ初めての遠足。天候にも恵まれ、みんな仲良く楽しい一日を過ごすことができました。感染拡大の減少に伴って、本校でも様々な教育活動や学校行事が少しずつ再開されています。この秋、校外学習や遠足、縦割り集会活動、兄弟学級がペアになってのさくらんぼ音楽会、土曜公開授業、引取り訓練、研究発表会、ふれあいフェスティバル等。まずは、感染拡大等には十分注意し、集団活動を通して、仲間と協力して何かを創り上げていく素晴らしさや楽しさを体験し、逞しく成長してほしいと思います。

またこの時期は、読書の秋でもあります。最近の調査によると、「読書の機会が多い子ほど、新しい事に興味をもつ」というデータがあります。中尾小では、読書ボランティア「よむよむさん」が各学級で読み聞かせをしてくださったり、高学年が本を1冊選び、低学年に読んで聞かせる「さくらんぼ読書交流会」を予定したりしています。図書室も「さくさくさん」による季節の飾りつけなどで環境が整備され、一人月平均5~6冊も本を借りる中尾っ子たちは、「読書は好きですか」という全国調査でも、平均よりも5ポイント以上高い結果が出ていることは、嬉しいことです。読書は、「目に見えない学力」を育みます。テストの点のように結果はすぐに目には見えませんが、一生涯をかけて豊かな心を育み、知的好奇心や想像力、宇宙の果てまででも飛んでいくようなファンタスティックな体験を広げ、味あわせてくれます。

9月30日(金)~10月6日(木)には、「中尾小ファミリー読書週間」が始まります。秋のひと時、お子さまと、何か一緒に本を手にとって、本の世界を味わってみてはいかがでしょうか。